

国民健康保険運営協議会
令和8年2月16日
議題 (1)

令和8年 第1回
大牟田市国民健康保険運営協議会会議資料

(1) 令和8年度大牟田市国民健康保険特別会計当初予算(案)について

大牟田市市民部保険年金課

= 目次 =

1. 令和8年度国民健康保険事業費納付金について … 1
 - (1) 国保財政の仕組み
 - (2) 令和8年度福岡県国保事業費納付金について

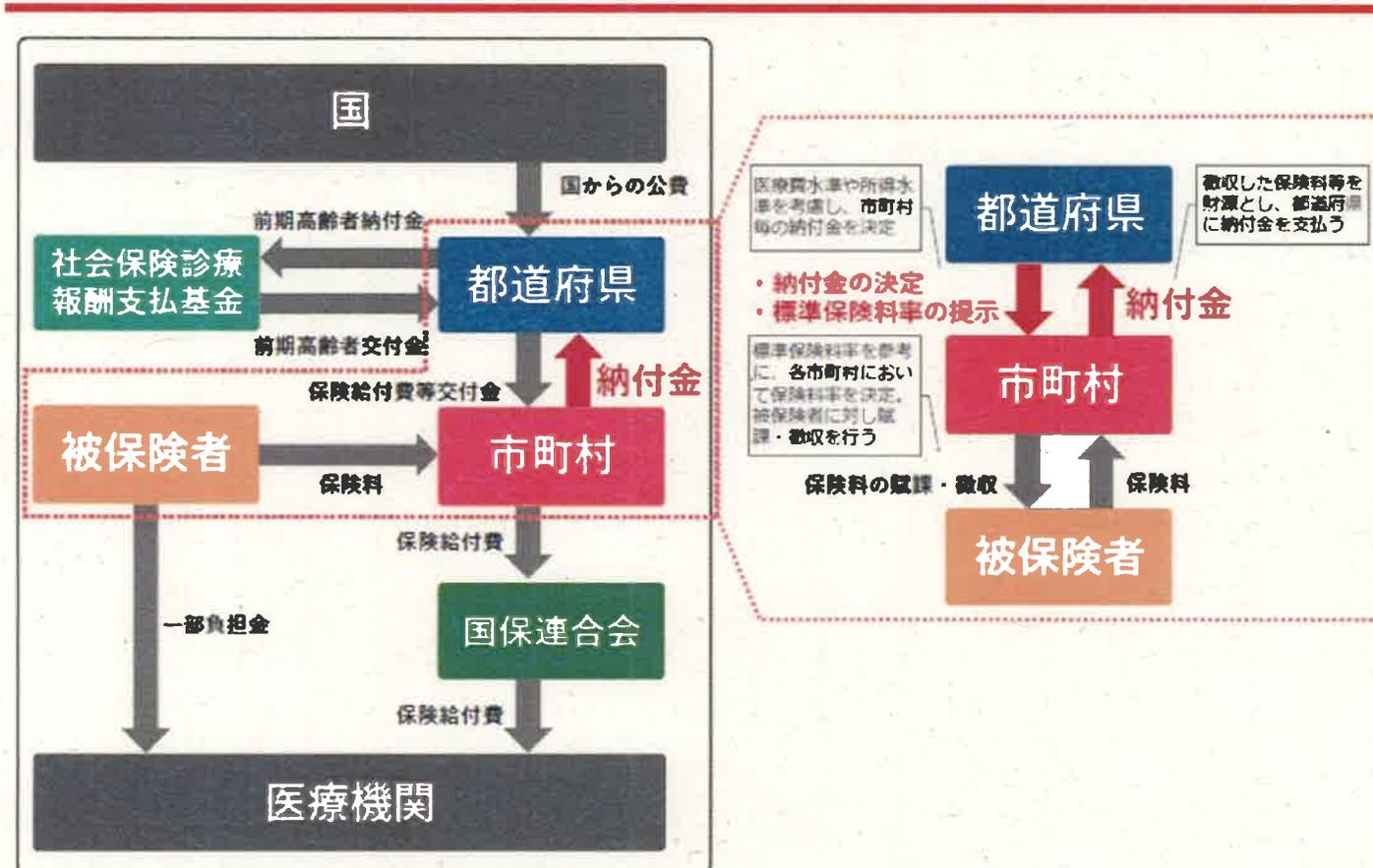
2. 令和8年度国民健康保険特別会計当初予算（案）について…4
 - (1) 令和7年度決算見込
 - (2) 令和8年度当初予算（案）
 - (3) 令和7年度と令和8年度当初予算（案）の比較
 - (4) 令和8年度当初予算（案）について（まとめ）

1. 令和8年度国民健康保険事業費納付金について

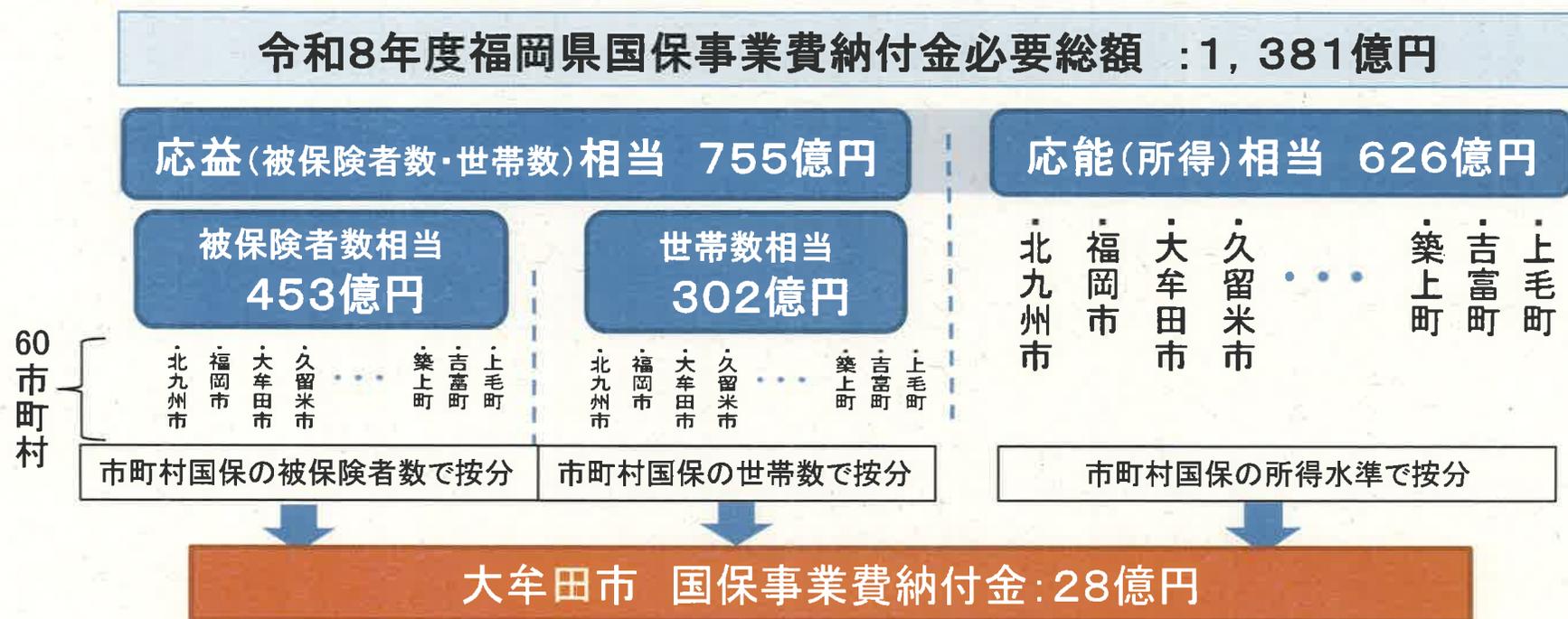
(1) 国保財政の仕組み

- ★ 県から市町村へ交付する保険給付費等交付金に充てるため、県が市町村から徴収するもの。
- ★ 国や県費等の公費で賄われない部分を、県内全市町村で所得シェア、人数シェア、及び医療費水準に応じて分かち合うもの。
- ★ 令和8年度から、少子化対策の財源となる「子ども・子育て支援納付金」が追加となる。

納付金の概要 (イメージ)



(2) 令和8年度福岡県国保事業費納付金について (イメージ)



●福岡県国保事業費納付金について

診療報酬改定等の影響による給付費の増、子ども・子育て支援納付金の新設などにより、7年度と比較し歳出総額が増加していることから、県の財政安定化基金から約46億円を繰り入れることなどにより、一人当たりの納付金額の上昇を抑えている。

県平均の一人あたりの事業費納付金は、7年度151,402円から8年度155,848円の4,446円の増となった。

●各市町村の納付金算定について

各市町村の被保険者数や所得水準並びに医療費水準を考慮して算定されている。県内の将来的な保険料水準の統一に向けて、県内の医療費水準を合わせるため、7年度の納付金算定から医療費による影響を段階的に縮小させ、11年度には反映度合いを半分にすることとしている。このことから、医療費水準が高い本市にとっては納付金の増加が抑えられる要因の一つとなっている。

※大牟田市の一人あたりの事業費納付金については、7年度143,740円から8年度145,927円、2,187円の増となった。

<令和8年度 本算定納付金（1人あたり）の状況（金額順）>

番号	市町村名	一般被保険者数		H28納付金相当額	R8納付金額 (推計)	B/A (%)
		H28	R8 (推計)	A (円)	B (円)	
県計		720,664	885,089	128,887	155,848	120.9
1				143,196	174,206	121.7
2				136,747	170,863	125.0
3				133,687	170,430	127.5
4				141,703	169,427	119.6
5				135,140	169,168	125.2
6				135,873	169,005	124.4
7				129,641	168,724	130.2
8				142,128	167,973	118.2
9				127,033	164,115	129.2
10				141,620	163,513	115.5
11				130,952	162,026	123.7
12				130,282	161,876	124.3
13				133,048	161,148	121.1
14				133,776	160,607	120.1
15				125,386	159,039	126.8
16				135,294	158,926	117.5
17				121,801	158,747	130.3
18				132,132	158,473	119.9
19				113,585	158,192	139.3
20				122,374	157,702	128.9
21				134,143	157,134	117.1
22				122,700	157,027	128.0
23				128,443	156,698	122.0
24				126,452	155,544	123.0
25				126,446	154,753	122.4
26				120,002	154,082	128.4
27				128,280	153,627	119.8
28				121,997	153,582	125.9
29				122,597	153,121	124.9
30				127,755	151,881	118.9

番号	市町村名	一般被保険者数		H28納付金相当額	R8納付金額 (推計)	B/A (%)
		H28	R8 (推計)	A (円)	B (円)	
31				127,063	151,826	119.5
32				127,529	151,127	118.5
33				105,563	149,026	141.2
34				115,939	148,920	128.5
35				118,614	148,836	125.5
36				117,609	148,305	126.1
37				122,054	147,019	120.5
38				110,245	147,011	133.4
39				127,880	146,568	114.6
40				127,715	146,291	114.5
41				115,692	146,139	126.3
42				117,066	146,044	124.8
43	大牟田市	28,599	19,207	124,916	145,927	116.8
44				111,756	141,840	126.9
45				124,463	140,317	112.7
46				110,837	138,335	124.8
47				116,940	138,134	118.1
48				126,504	137,753	108.9
49				114,501	137,186	119.8
50				97,304	136,182	140.0
51				134,433	135,877	101.1
52				113,838	135,861	119.4
53				118,709	135,519	114.2
54				120,777	135,303	112.0
55				117,443	133,334	113.5
56				96,031	131,731	137.2
57				120,429	129,380	107.4
58				116,930	126,190	107.9
59				117,913	122,516	103.9
60				125,317	119,423	95.3

2. 令和8年度国民健康保険特別会計当初予算（案）について

(1) 令和7年度決算見込 <予算現額(9月補正後)>

歳入

区分	予算現額(A)	決算見込(B)	決見-予算(B-A)	
保険税	現年度分	1,515,915	1,564,876	48,961
	滞納繰越分	74,215	77,276	3,061
	計	1,590,130	1,642,152	52,022
国庫支出金	56	120	64	
県支出金	普通交付金	10,145,319	9,447,647	△ 697,672
	特別交付金	479,126	495,619	16,493
	国保事業費補助金	5,879	5,546	△ 333
	計	10,630,324	9,948,812	△ 681,512
一般会計繰入金	1,177,000	1,114,086	△ 62,914	
その他	48,512	48,512	0	
繰越金	659,270	659,270	0	
合計	14,105,292	13,412,952	△ 692,340	

歳出

(単位：千円)

区分	予算現額(A)	決算見込(B)	決見-予算(B-A)	
総務費	201,674	183,758	△ 17,916	
保険給付費	療養給付費等	10,181,869	9,484,197	△ 697,672
	その他 (出産・葬祭費・傷病手当等)	70,338	70,238	△ 100
	計	10,252,207	9,554,435	△ 697,772
事業費納付金	医療納付金分	2,088,521	2,088,521	0
	後期高齢者支援金等分	618,768	618,768	0
	介護納付金分	193,382	193,382	0
	計	2,900,671	2,900,671	0
保健事業費	174,119	171,967	△ 2,152	
その他(返還金等)	17,350	188,664	171,314	
予備費	559,271	0	△ 559,271	
合計	14,105,292	12,999,495	△ 1,105,797	

令和7年度の実質収支見込み(歳入-歳出)

13,412,952千円 - 12,999,495千円 = 413,457千円

令和7年度の単年度収支見込み(実質収支見込-繰越金)

413,457千円 - 659,270千円 = △245,813千円

○実質収支の見込みが黒字(約4億1千万円)となる主な要因

○単年度収支の見込みが赤字(約2億5千万円)となる主な要因

- ・6年度決算から、約6.6億円の繰越しを行った。
- ・6年度に過大交付を受けていた県の交付金の返還金が約1.7億円発生する。

○決算剰余金(約4億1千万円)の取扱い

- ・8年度へ繰越し、保険税の変動等に対する財源として活用する。

(2) 令和8年度当初予算(案)

歳入

区分	7年度 当初予算	8年度 当初予算 (案)	増減	備考	
保険税	現年度分	1,515,915	1,519,279	3,364	・被保険者数は減となっているが、一人あたりの調定額の増等により増 ・8年度から新たに、子ども・子育て支援納付金分保険税が創設
	滞納繰越分	74,215	74,134	△ 81	
	計	1,590,130	1,593,413	3,283	
国庫支出金	56	0	△ 56		
県支出金	普通交付金	10,145,319	10,270,155	124,836	・歳出の保険給付(療養給付費等)に対する交付金
	特別交付金	479,126	430,651	△ 48,475	・精神疾患が多い事など特別な事情による財政負担や医療費適正化の取組に対する交付金
	国保事業費補助金	5,879	6,680	801	・健康増進事業に対する補助金
	計	10,630,324	10,707,486	77,162	
一般会計繰入金	1,177,000	1,114,327	△ 62,673	・職員給与費や事務費、保険税軽減に係る基盤安定繰入金等一般会計からの繰入金	
その他	48,512	48,516	4		
繰越金	100,000	100,000	0	・7年度からの繰越金(7年度決算が確定していないため100,000千円を見込み計上)	
合計	13,546,022	13,563,742	17,720		

歳出

(単位:千円)

区分	7年度 当初予算	8年度 当初予算 (案)	増減	備考	
総務費	201,674	198,639	△ 3,035	・職員給与費、事務費、医療費適正化対策費等	
保険給付費	療養給付費等	10,181,869	10,306,705	124,836	・7年度の一人あたり保険給付費見込額から診療報酬改定等による伸びを見込んだもの
	その他 (出産・葬祭費等)	70,338	61,738	△ 8,600	
	計	10,252,207	10,368,443	116,236	
事業費納付金	医療納付金分	2,088,521	1,975,375	△ 113,146	・県内市町村の医療費水準や所得水準に応じて、県が算定した額 ・被保険者数は減となるが、一人あたりの納付金額は増となる ・8年度から新たに、子ども・子育て支援金にかかる納付金が創設 (一人あたり納付金額) R7年度 143,740円 R8年度 145,927円
	後期高齢者支援金等分	618,768	591,922	△ 26,846	
	介護納付金分	193,382	181,151	△ 12,231	
	子ども・子育て支援金納付金分	0	54,372	54,372	
	計	2,900,671	2,802,820	△ 97,851	
保健事業費	174,119	176,489	2,370	・特定健診・特定保健指導費、歯科検診費等	
その他	17,351	17,351	0		
合計	13,546,022	13,563,742	17,720		

令和8年度予算総額 136億円

(3) 令和7年度と令和8年度当初予算(案)の比較 (5ページの主な増減理由)

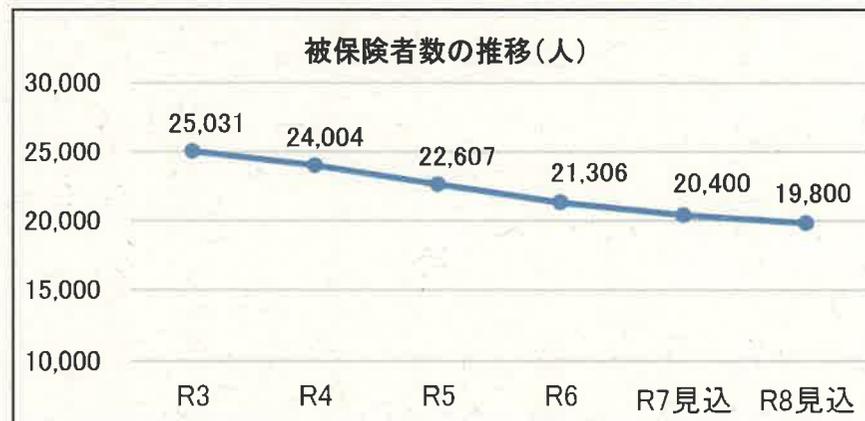
【被保険者数】

○人口の減少や後期高齢者医療への移行などにより減となる。

7年度見込 20,400人

8年度予算 19,800人 (△600人)

(7年度当初 20,300人 △500人)



【歳出の主な増減理由】

○8年度の療養給付費は、診療報酬改定等により一人あたりの伸びが見込まれる。一方で被保険者は減少するが総額では増と見込む。(給付費は普通交付金として全額県から交付される)

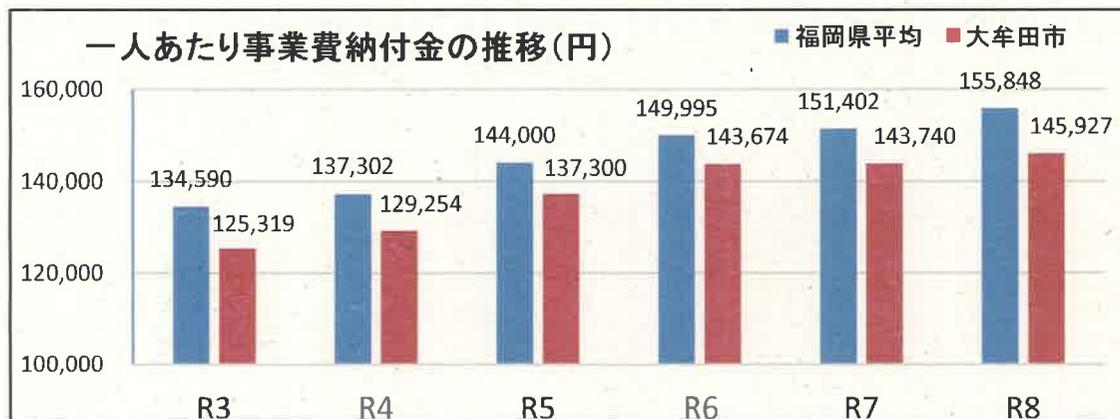


(3) 令和7年度と令和8年度当初予算(案)の比較 (5ページの主な増減理由)

【歳出の主な増減理由】

○事業費納付金は、保険給付費の伸び、子ども・子育て支援納付金の創設などにより、7年度と比較し、一人あたりの事業費納付金の額は増加しているが、被保険者の減少により総額は減となる。

なお、県内の将来的な保険料水準の統一に向けて、県内市町村の医療費による影響を縮小させる動きなどから、医療費水準が高い本市は事業費納付金の伸びが抑えられている。



R7 → R8

県平均 4,446円の増
大牟田市 2,187円の増

【歳入の主な増減理由】

○保険税は、7年度一人あたり調定額見込を参考に見込む。また、子ども・子育て支援納付金に係る保険税についても予算額(見込)を計上する。

○県支出金のうち、普通交付金は歳出の給付費の増により増となる。

○繰越金は、7年度の決算見込の黒字のうち1億円を計上。

(4) 令和8年度当初予算(案)について(まとめ)

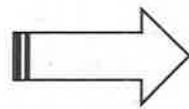
● 8年度の保険税は、被保険者数は減となるが、一人あたりの保険税の増及び新たな「子ども・子育て支援納付金分」保険税の創設等により、7年度当初予算と比較し増となる。

「子ども・子育て支援納付金分」保険税の税率については、6月議会に提案する予定としており、その予算額については、県からの事業費納付金資料等に基づき算定し、計上している。

なお、8年度は、7年度からの繰越金(黒字分)が生じる見込であり、この繰越金を活用することにより、「子ども・子育て支援納付金分」保険税を除いた、これまでの「基礎課税分」「後期高齢者支援金分」「介護納付金分」の8年度の本市保険税率は据え置くこととする。

● 保健事業については、「大牟田市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)・第4期特定健康診査等実施計画」に基づき、特定健診、保健指導、歯周病検診、生活習慣病の予防等に取り組み、被保険者の健康増進や医療費の適正化を推進する。

● 7年度決算は約4億円の黒字を見込んでいるが、額については年度末まで未確定のため、8年度当初予算では1億円のみ計上し、1億円を超える繰越金が生じた場合は、8年度以降収支不足額が生じた場合の財源として活用したい。



8年度の当初予算は、これまでの「基礎課税分」「後期高齢者支援金分」「介護納付金分」の税率は据え置き予算編成を行う。

(4) 令和8年度当初予算(案)について(まとめ)

※令和8年度税制改正等による見直し予定

- ・ 保険税の基礎課税分課税限度額を1万円引き上げ
- ・ 保険税2割、5割の軽減判定所得の見直し
- ・ 保険税の子ども・子育て支援納付金分の課税限度額は3万円

※参考 大牟田市現行保険税率及び課税限度額

	所得割	均等割	平等割	課税限度額
基礎課税分	9.30%	19,900円	22,400円	660,000円
後期高齢者支援金分	2.95%	6,200円	7,000円	260,000円
介護納付金分	3.15%	14,200円	—	170,000円
子ども・子育て支援納付金分				